

4月号で若者たちによる次世代カーメディア創設のことを紹介した。しかし、そもそもほとんどの若者はクルマを持つていなかつたりする。というわけで今回は、若い人たちがクルマを持つことの意義と、実際にどんなクルマに乗つたらいいのかを考察してみた。

先日、クルマ好きの大学生

ふたりがうちの会社に遊びに来た。「学生でも自動車レースに出る場を作つていいこう!」という思いでサーキュルを立ち上げたという。

やつて来たふたりはクルマを持っているけど、部員の多くは所有していないため、レンタル方式を考えていること。

んつ? ちよつと待つてくれ。レースをする前にクルマを買って、運転の基礎を覚えるのが先なのではないか? うちで働いているインターンの大学生も大のクルマ好きなのだが、自分のクルマを持つていない。家には親父さんのエルグランドがあつて、でももう1台分駐車場スペースがあるらしい。そんなラッキーな環境があるなら、クルマ買いたいよ! 世界が広がるぞ!! と思う。

クルマを持つことは、未来の自分への投資だ

担当編集カトーも同意する。

「まずは自分のクルマを持つのが始まりっしょ。僕が初めてクルマ買つた時は、マフラー・カッタ



■文: 太田哲也

いつもそばにいる クルマが。

たステッカー一枚だけかもしれないが、その違いは絶大だ。彼らの言い分を聞いてみると、クルマを所有すると維持費かかるし壊れたら金もかかる。東京近郊なら公共交通機関で足りるし、家の親父のクルマを借りればそんなに困らない。バランスを考えるといらうかな、などと考えてしまふようだ。

確かに短期的には賢い判断かもしれないが、やっぱり長期的視野でみるとどうかと思うのだ。「クルマがいるか知らないか」ではなく、「好きなものを手に入れる」ということで、未来の自分への投資だ。担当編集カトーも同意する。

「まずは自分のクルマを持つのが始まりっしょ。僕が初めてクルマ買つた時は、マフラー・カッタ

ル・マン、全日本GT選手権などで活躍し、「日本一のフェラーリ使い」の異名を持つ。多重事故から社会復帰までを継った「クラッシュ」「リバース」は映画化となりベストセラー。現在は、自動車評論家として、また「モータースポーツ」をキーワードにさまざまな活動を行う。公式URL <http://www.keep-on-racing.com>、<http://www.tezzo.jp>

Profile ● 太田哲也 (おおたてつや)

の自分のキャラが変わることなのだ。少し説明しよう。今のクルマは中古だつて、それほど重要な部品は壊れない。たとえ壊れたとしても生命の危機にまで及ばない。もし壊れたとしても、それでトラブル対応力や知識が身に着く。そう考えればいい。その時は大変な思いをしたつて、後になれば楽しい思い出だ。過去のトラブル自慢も

クルマ好きの醍醐味だ。思い出はプライスレス! 今や牛丼が270円、女の子とデートしなくても、スマホやパソコンの恋愛ゲームで楽しめる。外に出なくとも大抵のことはスマホで情報を得られる。だからクルマ買うほどでもないなうと思う気持ちはわからないでもないが、「自分への投資」という側面も考えてみてほしい。

▲2013年のオートマチック限定免許の取得者割合は55%で、最近ではMT車に運転できる人が少なくてMT車をうまく乗りこなせると、それだけでカッコ良かつたりするのだ!



う考え方はできないだろうか。

僕約しようとか貯金をしようとか考へるのは、もう少し歳をとつてからでいいんじゃない。

現在、日本の国債発行額は800兆円を超えており、今後もさらに増える見込みというから、いつか財政破綻もあり得る。老人はともかく、若者に多少貯金

があつたって、老後までは持たないよ。それより今身につけるべきスキルは、「僕約技術」ではなく、「稼げる能力」だ。そのためには自分のモチベーションを高め、自分をアグレッシブな人間に変えることだ。それにはクルマを買うことだ。ちょっと強引かな。まあいいや。

クルマなんてなくともやっていけると思つてゐるかも知れない。確かに移動の道具としてならそうかもしれない。でもクルマ好きにとつては、クルマは移動の道具ではないのだ！

自分の器をでつかくする（あるいは見せる）ための最高のツールだ。だからクルマを所有すること自体に意味があるのだ。しかも移動の道具にもなる便利さも持ち合わせている。

初めてのクルマ選びは 中古車から始めよう！



▶初めてクルマを買うなら、断然中古車がオススメ。運転を練習するなら、FRでMT（マニュアルトランスミッション）の小さめのクルマがベストだが、FFでもまったく問題ない。もちろんスポーツカーである必要もなし。とにかくどんどん運転して、クルマに慣れることが重要だ

いいだろう。基本的に若者に勧めたいのは「中古車」だ。くれぐれも一生モノを新車で…などとは考へないでほしい。

何度も言うが、クルマを所有するのは、自分の器を大きくす

「クルマは自分の器をでつかくすること自体に意味があるのだ！」

るのが目的だ。つまり背伸びがないよ。それより今身につけるべきスキルは、「僕約技術」ではなく、「稼げる能力」だ。そのためには自分のモチベーションを高め、自分をアグレッシブな人間に変えることだ。それにはクルマを買うことだ。ちょっと強引かな。まあいいや。

まあそれは言つても運転がうまくなるというキーワードであれば、最初から大型車ではない方がいいな。そこそこのパワーの方が振り回しやすい。

できればMTでFRだつたら最高だ。NA（初代）やNB（2代目）ロードスターやS15シリビア（あえてターボじゃない）などは、出物があればかなりお手頃な価格で手に入る。ただ、良い中古車が残つていらないから難しいかもしないが、ならばFFだつていい。たとえば中古のフィットRSやヴィッツRSなど。ちなみにビートなどの軽自動車は、中古だと登録車のコンパクトカーより割高なので外そう。

ハイブリッドやミニバンなんて論外だ。何度も言うけど、俺たちは移動の道具として買うのではないのだ。ミニバンなら女性の子にモテるのでは…、と思う

車だと高いけど、下取り対策が弱い海外メーカーなら中古の値落ちが大きいケースもある。

輸入車は低年式でも見た目の古さを感じない車種が多い。10年落ちのポロGTIとかアルファ156や147もいいね。50万円を切つてたりする。俺は年式よりも走行距離を重視するのだが、距離が短いと程度の良いものが多いからだ。輸入車は普及車であつても、移動の道具的よりも走りの喜びを表現したものが多いから余計に好都合だ。

それ意外に狙い目は不人気車かな。俺の時代には「バイオレット」というクルマがあつて、車格や性能の割りに中古市場でとても安かつた。標準は格好悪い



▲輸入車ワゴンメオ156。アルファオーナーといふ出物もあるので、ドライビング万円前後働くのにはもってこいだ

ゲテクを!

[Tetsuya OTA ENJOY&SAFETY DRIVING LESSON情報] 5月18日(日)もてぎにて開催。広い駐車場の南コース走りまくり&国際レーシングコースの東コースで体験走行もできます。教習車両としてフォードラインアップが勢ぞろい。フォーカス、フィエスタ、発売前のエコスポーツも登場し、太田哲也校長による同乗走行や体験試乗会などもあります。お申込お問合せはinfo@sportsdriving.jpまで。

●http://www.sportsdriving.jp